

2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月8日

上場会社名 株式会社U-NEXT HOLDINGS 上場取引所 東
 コード番号 9418 URL <https://unext-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 宇野 康秀
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 西本 翔 (TEL) 03-6823-7015
 四半期報告書提出予定日 2024年7月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第3四半期の連結業績 (2023年9月1日~2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	235,537	16.5	23,533	51.2	23,006	56.9	13,014	55.5
2023年8月期第3四半期	202,097	15.7	15,567	15.1	14,664	14.5	8,369	22.9

(注) 包括利益 2024年8月期第3四半期 13,632百万円 (62.0%) 2023年8月期第3四半期 8,417百万円 (23.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	EBITDA		調整後EPS	
	円 銭	円 銭	百万円	%	円 銭	%
2024年8月期第3四半期	216.48	—	30,994	37.1	255.72	42.5
2023年8月期第3四半期	140.08	140.00	22,614	12.9	179.47	19.1

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第3四半期	220,601	89,690	36.2
2023年8月期	200,524	77,707	34.1

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 79,759百万円 2023年8月期 68,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	10.00	—	11.50	21.50
2024年8月期	—	16.00	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の連結業績予想 (2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	316,000	14.3	28,500	32.2	27,500	34.9	14,700	34.1	244.50

	EBITDA		調整後EPS	
	百万円	%	円 銭	%
通期	39,000	24.5	296.89	26.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細につきましては、添付資料P. 10 「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年8月期3Q	60,125,111株	2023年8月期	60,096,611株
② 期末自己株式数	2024年8月期3Q	97株	2023年8月期	74株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年8月期3Q	60,120,103株	2023年8月期3Q	59,747,208株

(5) 各種経営指標の算式

- ・ EBITDA : 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費
※ 減価償却費、のれん償却費はC/F計算書の金額を使用しております。
- ・ 調整後EPS : 調整後当期純利益 (注) / 期中平均株式数
(注) 親会社株主に帰属する当期純利益 + のれん償却費
※ 四半期においては、「当期」を「四半期」に読み替えて計算しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足資料の入手方法について)

2024年8月期第3四半期 決算概況資料は、本日 (2024年7月8日)、当社ホームページで開示するほか、TDnetにも公表しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2024年4月1日に「株式会社USEN-NEXT HOLDINGS」から「株式会社U-NEXT HOLDINGS」に商号を変更いたしました。

2017年12月の㈱USENと㈱U-NEXTの経営統合以来、6年が経過し、㈱USENは、現在においても当社グループが展開する多様なビジネスの経営基盤となっており、㈱U-NEXTは㈱プレミアム・プラットフォーム・ジャパンとの経営統合を行い、強力なユーザー基盤構築、コンテンツ拡充により、国内勢最大のプラットフォームとなりました。

現行の中期経営計画も順調に推移している中で、当社グループが新たな成長フェーズへ移行するにあたっての商号変更となります。

当社グループにおいては事業セグメントを以下の5つに分類するとともに、それぞれのセグメントにおいてその実現に向けた取り組みを行っております。

当社グループの事業セグメントは、個人向け映像配信サービスを提供する「コンテンツ配信事業」、業務店や施設向けに店舗DXサービス、音楽配信サービスや店舗向け集客支援サービスを提供する「店舗サービス事業」、オフィス向けネットワーク、セキュリティサービスの提供やインターネットサービス等の代理販売を行う「通信事業」、医療機関やホテルを中心に、自動精算機やフロントの管理システムを提供する「業務用システム事業」、業務店や商業施設向けに高圧、低圧電力を提供する「エネルギー事業」であります。

また、当社グループは、主軸事業である店舗サービスの提供先である業務店を始め、ホテル・病院・ゴルフ場や中小オフィスといったBtoB市場や映像配信、通信サービスをはじめとするBtoC市場などの様々な顧客が当社グループの最大の資産であると考えております。

当第3四半期連結累計期間においては、訪日外国人が単月で過去最高の300万人を超え、また国内回帰の傾向も相まって観光地には多くの人々が訪れるとともに、業務店の営業や施設の稼働においても、賑わいを呈しております。

一方、恒常的な人手不足、諸物価の高騰、物流の2024年問題や為替相場の影響等、当社顧客を取り巻く環境は一層不透明な状況となっております。

このような状況下、当社グループでは様々な事業活動を通して社会のニーズや課題を一気通貫で対応し、業務店やサービス利用者の方々をサポートするとともに、個人ユーザーに対して、人々の自由な時間を最高なものとするために、誰もが使いやすいサービスを開発し、更に幅広いジャンルのコンテンツを提供し続けるための取り組みを行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高235,537百万円(前年同四半期比16.5%増)、営業利益23,533百万円(前年同四半期比51.2%増)、経常利益23,006百万円(前年同四半期比56.9%増)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、13,014百万円(前年同四半期比55.5%増)となりました。

当社グループの各セグメント別の売上高(セグメント間の内部売上高又は振替高を含む。)及び営業利益は以下のとおりであります。

なお、店舗サービス事業を中心にサービス軸で組織を再編、役割を明確化したより機動的な事業展開を通じてグループ全体の成長拡大へ繋げていくため、2024年9月1日付でグループ組織再編を行う予定です。詳細は、2024年6月19日付IRリリースをご参照ください。

また、第1四半期連結会計期間から一部報告セグメントを変更しております。変更の内容については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

<コンテンツ配信事業>

コンテンツ配信事業は、連結子会社の(株)U-NEXTが運営しており、映像配信サービス『U-NEXT』の提供・販売を行っております。

『U-NEXT』では、豊富な見放題作品を用意しており、2024年6月時点で映画やドラマなどの動画作品はレンタルも含めて37万本以上、漫画や書籍などの電子書籍は105万冊以上、雑誌は190誌以上をそろえ、1つのアプリで「観る」「読む」をシームレスに楽しめる、ジャンルを超えたエンタメ体験をお届けしています。

当第3四半期連結累計期間においては、経済社会活動の正常化により、外出機会の増加、ライブ、コンサートやスポーツ等のリアルイベントが活況となり、映像配信サービスは消費者による選択と集中が行われてきております。また、為替相場は円安基調に戻りつつありコンテンツの調達コストに一定の影響を与えております。

このような状況下において、『U-NEXT』は、海外や韓流の人気コンテンツの配信をはじめ、TBS、テレビ東京の放送中ドラマやバラエティ、ラ・リーガなどの欧州サッカー、国内外の格闘技、ゴルフツアー、バレーボール ネーションズリーグなどのスポーツ、音楽、ライブ配信、電子書籍とラインアップの充実化を図っております。

また、月額会員の方には追加料金なしで約1,300冊の児童書が読み放題で楽しめる「キッズ読み放題」をスタートしております。

有料会員数は2024年5月末日時点で430万人を超え、その後も順調に会員数を伸ばしております。

なお、IP戦略の一環としてオリジナル書籍やオリジナルコミックの出版にも注力しておりますが、この度2022年に発行した芥川賞作家・藤野千夜氏の長編小説『団地のふたり』がドラマ化され、NHK BSにて放送されることが決定いたしました。引き続き、魅力あるコンテンツラインアップを拡充しサービス向上につとめてまいります。

その結果、コンテンツ配信事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は80,197百万円(前年同四半期比35.6%増)、営業利益は6,538百万円(前年同四半期比33.4%増)となりました。

<店舗サービス事業>

店舗サービス事業は、連結子会社の(株)USEN、キャンシステム(株)、(株)USEN Media、(株)USEN FB Innovation、(株)USENテクノサービス、USEN-NEXT Design(株)、(株)ユーズミュージック、WannaEat(株)、(株)USEN TRUSTが運営しており、音楽配信・店舗DXサービスを始めとする店舗ソリューションの提供・販売・施工、飲食店向け集客支援、フードライセンスシェアリングサービス、音楽著作権の管理・開発等を行っております。

音楽配信サービスは、全国の業務店、チェーン店や個人のお客様に最適なインフラを経由し、専用の受信端末機を通じて音楽・情報等を提供しております。

また、店舗DXサービスは、POSレジ『USENレジ』、キャッシュレス決済『USENPAY』、飲食店向けの集客支援サービス、Wi-Fi、IPカメラ、デジタルサイネージなどのIoTサービス、家賃保証サービス、損害保険サービスなど、店舗運営に必要なソリューションを提供しております。

また、(株)USEN Mediaは自社グルメサイトとして『ヒトサラ』及び訪日外国人向け『SAVOR JAPAN』を展開、『食ベログ』の取り扱いも含めた飲食店向け集客支援サービスを提供しており、WannaEat(株)はフードライセンスシェアリングサービスを行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、(株)USENでは、「お店の未来を創造する」をミッションに掲げ、引き続き店舗運営に必要な店舗DXをトータルサポートすることに注力し、顧客の課題解決に向けた取り組みを推し進めております。2024年3月には、北海道奈井江町が地方公共団体では初めて『USEN MUSIC Enterprise』を用いて公共施設や駅前広場で、場所・時間帯に応じた音楽の提供を開始しました。年齢や立場を問わず、誰もが音楽を通じてつながることができるまちづくりの取り組みをサポートしております。

また、USEN音楽配信サービスにおいて、音楽アーティストの「推し活」の一環としてだれでも参加できる楽曲投票サービス『USEN推し活リクエスト』を開始し、このサービスを通じて若年層に対し認知向上を図っております。

その結果、店舗サービス事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は52,047百万円(前年同四半期比10.4%増)、営業利益は8,246百万円(前年同四半期比10.9%増)となりました。

<通信事業>

通信事業は、連結子会社の㈱USEN NETWORKS、㈱U-NEXT、㈱USEN ICT Solutions、㈱USEN Smart Works、㈱USEN-NEXT LIVING PARTNERS、㈱TACT、㈱U-MX、㈱Next Innovation、Y.U-mobile㈱が運営しております。

法人向けには、主に㈱USEN ICT Solutionsが、「USEN GATE02」ブランドでサービスを提供しており、ネットワーク、セキュリティ、クラウドサービスを総合的に提案できる強みを活かし、ICTソリューションの「マルチサービスベンダー」としてICT環境構築の提案・販売を行っております。

また、㈱USEN Smart Worksでは、従業員の働き方をサポートするため、様々なクラウドサービス（SaaSサービス）を取りそろえて企業に提供しており、導入後のきめ細やかな対応にも留意いたしております。

業務店向けには、主に㈱USEN NETWORKSが自社で提供する光回線「USEN光plus」、ISP「USEN NET」や次世代IP電話サービスなど、お客様のニーズに合わせて様々なサービスの提供を行っております。

個人向けには、主にY.U-mobile㈱がMVNOサービス『y.u mobile』の提供を行っており、シンプルな料金プランによりサービス提供開始以降お客様に好評をいただいております。

当第3四半期連結累計期間においては、法人向けサービス、回線取次や自社光回線サービスが引き続き堅調に推移いたしました。

㈱USEN NETWORKSでは、自社で提供する法人向け光回線『USEN光plus』の新規獲得が引き続き安定的に増加しており、ワンショット型の手数料獲得モデルからランニング収益獲得モデルへのシフトが図れ、顧客数も着実に増加しております。また、社会貢献の取り組みとして、一般社団法人日本シングルマザー支援協会と連携し、対象の方々に対して割安な価格で光回線の提供を開始いたしました。

その結果、通信事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は47,703百万円(前年同四半期比10.2%増)、営業利益は5,491百万円(前年同四半期比13.3%増)となりました。

<業務用システム事業>

業務用システム事業は、連結子会社の㈱アルメックスが行っております。

㈱アルメックスは「テクノホスピタリティ (Technology×Hospitality) を世界へ」をミッションに、最新のテクノロジーを駆使した製品やサービスによって、お客様とその先にいるエンドユーザーの方々へ「究極のホスピタリティ」を提供することを目指しており、ビジネスホテル・シティホテル、レジャーホテル、総合病院やクリニック、ゴルフ場等向けに、自動精算機、ホテル管理システム、受付機・案内表示機等の開発・製造・販売・メンテナンスを行っております。また、飲食店向けには、オーダー端末やオペレーティングシステムの販売等も行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、2024年7月に新紙幣が発行開始されることを受けて、新紙幣に対応した自動精算機等の機器への入れ替え及び新規導入が引き続き堅調に推移し、売上は大きく伸びました。

病院・クリニックにおいては、人手不足や働き方改革から十分な受付窓口スタッフの配置が難しい状況にあることから、受付と健康保険証の確認を一体で行えるように、オンライン資格確認対応顔認証付カードリーダー『Sma-paマイナタッチ』と次世代型多機能受付機『Sma-paTERMINAL』、自動再来受付機『APS-3300』との連携を開始いたしました。これにより受付時の保険資格確認業務の負担軽減に寄与しております。

その結果、業務用システム事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は20,441百万円(前年同四半期比48.0%増)、営業利益は4,896百万円(前年同四半期比168.9%増)となりました。

<エネルギー事業>

エネルギー事業は、連結子会社の(株)U-POWER、(株)USENが運営しており、『U-POWER』『USENでんき』『USENGAS』を提供しております。

(株)U-POWERでは、企業のESG経営・SDGs対応を支援するためグリーンエネルギー比率が異なる3プランを提供し、店舗・施設で消費するエネルギーのグリーン化を推進しております。

(株)USENは東京電力グループとの業務提携による業務店向けの低圧電力、商業施設向けの高圧電力、更に都市ガスサービスの取次販売、省エネルギー施策提案などのエネルギー・コンサルティング・サービスを提供しています。

当第3四半期連結累計期間においては、冬季の需要期が終わって非需要期に入り、電源調達コストは低下基調になっております。

(株)U-POWERでは、企業向け実質再生可能エネルギーの高圧・低圧電力に加え、2023年11月より家庭向けの実質再生可能エネルギー電力プラン「GREENホーム」の販売を開始しております。環境に配慮した電気を利用したいという需要の高まりと、グループ内外の販売代理店を活用した獲得強化により、2024年5月末時点の供給口数は7万件を超え、その後も順調に契約数を伸ばしております。

引き続き実質再生可能エネルギーの販売を強化し、今後も日本国内の再生可能エネルギーの普及に貢献し、持続可能な社会の実現に向けて社会的責任を果たしてまいります。

その結果、エネルギー事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は38,766百万円(前年同四半期比7.0%減)、営業利益は5,048百万円(前年同四半期比133.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて20,077百万円増加し、220,601百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が2,622百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が3,400百万円増加したこと、棚卸資産が1,707百万円増加したこと、前払費用が13,118百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて20,829百万円増加し、142,054百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が338百万円増加したこと、無形固定資産が1,176百万円減少したこと、投資その他資産が85百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて751百万円減少し、78,547百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10,825百万円増加し、66,352百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が2,250百万円減少したこと、退職給付に係る負債が45百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて2,730百万円減少し、64,558百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金が11,361百万円増加したこと、非支配株主持分が674百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて11,983百万円増加し、89,690百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の業績予想につきましては、2024年4月9日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。詳細につきましては、2024年4月9日付「通期業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,132	54,754
受取手形及び売掛金	31,989	35,389
棚卸資産	9,708	11,416
前払費用	24,364	37,483
その他	4,017	4,023
貸倒引当金	△987	△1,012
流動資産合計	121,225	142,054
固定資産		
有形固定資産	18,419	18,758
無形固定資産		
のれん	42,591	40,278
その他	6,083	7,220
無形固定資産合計	48,675	47,498
投資その他の資産		
その他	17,258	17,344
貸倒引当金	△5,054	△5,054
投資その他の資産合計	12,204	12,290
固定資産合計	79,298	78,547
資産合計	200,524	220,601
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,457	27,150
電子記録債務	2,009	3,143
1年内返済予定の長期借入金	3,000	3,000
未払法人税等	2,460	6,548
その他の引当金	191	350
その他	23,408	26,158
流動負債合計	55,527	66,352
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	50,970	48,720
設備関連補修引当金	104	78
退職給付に係る負債	2,340	2,295
その他	3,874	3,464
固定負債合計	67,289	64,558
負債合計	122,817	130,911

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	97	99
資本剰余金	29,784	29,786
利益剰余金	38,138	49,499
自己株式	△0	△0
株主資本合計	68,020	79,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99	42
退職給付に係る調整累計額	331	331
その他の包括利益累計額合計	431	374
非支配株主持分	9,255	9,930
純資産合計	77,707	89,690
負債純資産合計	200,524	220,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
売上高	202,097	235,537
売上原価	132,725	147,277
売上総利益	69,371	88,260
販売費及び一般管理費	53,803	64,726
営業利益	15,567	23,533
営業外収益		
違約金収入	34	74
持分法による投資利益	41	50
その他	137	114
営業外収益合計	214	239
営業外費用		
支払利息	500	375
為替差損	125	237
その他	491	153
営業外費用合計	1,117	767
経常利益	14,664	23,006
特別利益		
投資有価証券売却益	172	165
負ののれん発生益	88	—
その他	—	0
特別利益合計	260	165
特別損失		
固定資産除却損	558	467
その他	163	77
特別損失合計	721	545
税金等調整前四半期純利益	14,204	22,626
法人税等	5,817	8,937
四半期純利益	8,386	13,689
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	674
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,369	13,014

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	8,386	13,689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△56
退職給付に係る調整額	27	△0
その他の包括利益合計	30	△57
四半期包括利益	8,417	13,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,399	12,957
非支配株主に係る四半期包括利益	17	674

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期 連結 損益 計算書 計上額 (注) 2
	コンテン ツ配信 事業	店舗サ ービス 事業	通信 事業	業務用 システム 事業	エネル ギー 事業	計		
売上高								
一時点で移転される財	6,145	12,220	14,730	8,781	619	42,497	23	42,521
一定の期間にわたり移転される財	52,753	34,449	26,325	4,984	41,036	159,549	26	159,575
顧客との契約から生じる収益	58,898	46,670	41,055	13,765	41,656	202,046	50	202,097
外部顧客への売上高	58,898	46,670	41,055	13,765	41,656	202,046	50	202,097
セグメント間の内部売上高又は振替高	262	464	2,226	46	11	3,011	△3,011	—
計	59,161	47,135	43,282	13,811	41,667	205,057	△2,960	202,097
セグメント利益	4,901	7,435	4,845	1,820	2,165	21,169	△5,601	15,567

(注) 1. セグメント利益の調整額△5,601百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期 連結 損益 計算書 計上額 (注)2
	コンテ ンツ配 信事 業	店舗サ ービス 事業	通信 事業	業務用 システ ム事 業	エネ ルギ ー事 業	計		
売上高								
一時点で移転される財	8,474	14,267	15,354	15,127	37	53,261	3	53,265
一定の期間にわたり移転される財	71,546	37,226	29,497	5,273	38,688	182,232	39	182,271
顧客との契約から生じる収益	80,021	51,493	44,851	20,400	38,726	235,494	43	235,537
外部顧客への売上高	80,021	51,493	44,851	20,400	38,726	235,494	43	235,537
セグメント間の内部売上高又は振替高	176	554	2,851	40	40	3,662	△3,662	—
計	80,197	52,047	47,703	20,441	38,766	239,156	△3,618	235,537
セグメント利益	6,538	8,246	5,491	4,896	5,048	30,221	△6,687	23,533

(注) 1. セグメント利益の調整額△6,687百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない
 全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

第1四半期連結会計期間より、業績管理区分を見直しており、それに伴い報告セグメントの見直しを行っております。「コンテンツ配信事業」に含まれていた(株)TACTの業績を「通信事業」に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間において用いた報告セグメントに基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。